

2. 社会支出と国際比較

(1) 政策分野別社会支出

2011年度の社会支出を政策分野別にみると、「高齢」が最も多く（46.5%）、次いで「保健」（32.4%）、「遺族」（6.1%）、「家族」（5.7%）、「障害、業務災害、傷病」（4.3%）、「他の政策分野」（2.5%）、「失業」（1.3%）、「積極的労働市場政策」（0.8%）、「住宅」（0.5%）の順となっている。

表4 政策分野別社会支出

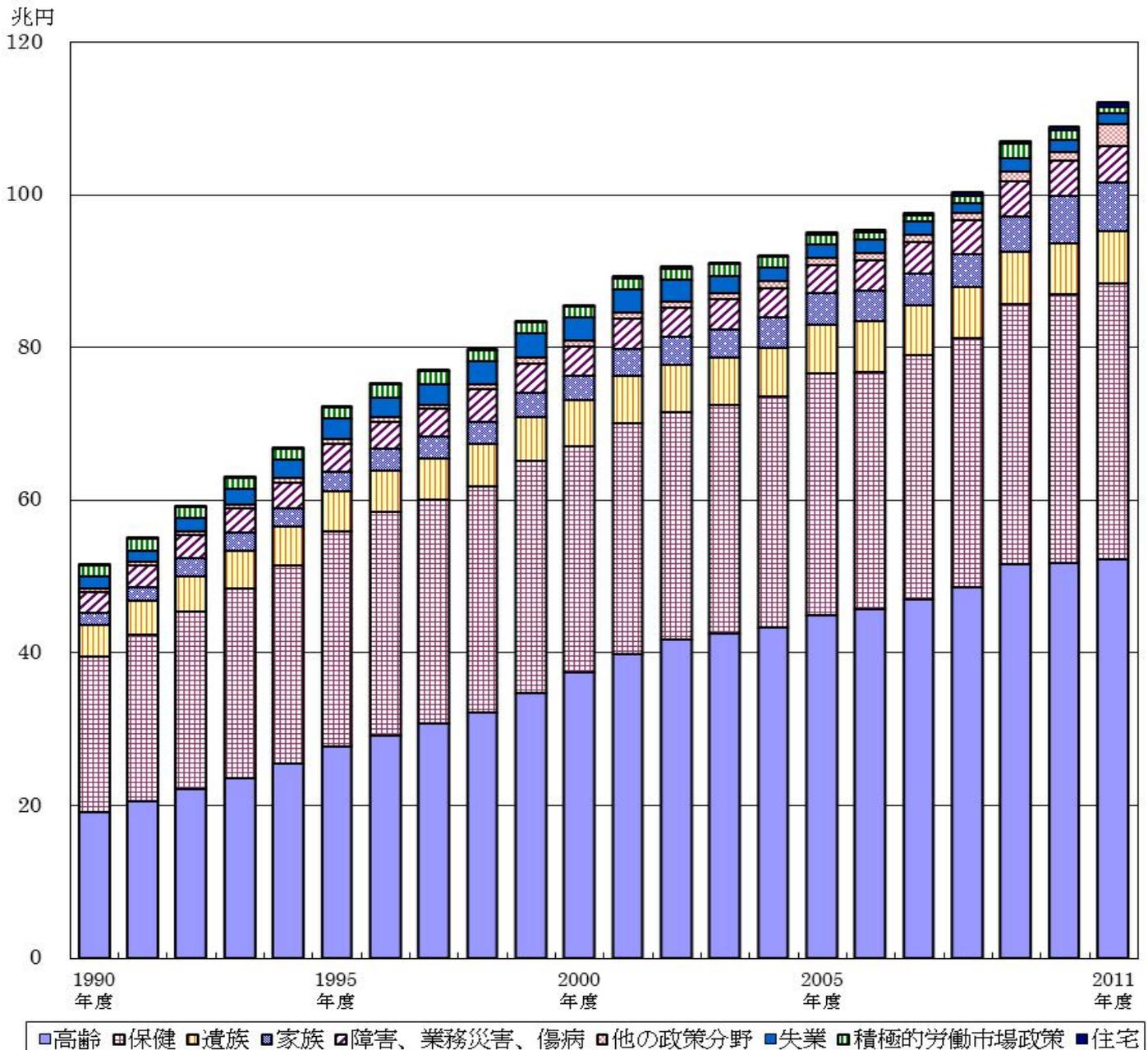
社会支出	2010年度	2011年度	対前年度比	
			増加額	伸び率
	億円	億円	億円	%
合 計	1,089,195 (100.0)	1,120,437 (100.0)	31,242	2.9
高 齢	517,727 (47.5)	521,233 (46.5)	3,506	0.7
遺 族	68,051 (6.2)	68,130 (6.1)	79	0.1
障害、業務災害、傷病	45,728 (4.2)	48,018 (4.3)	2,290	5.0
保 健	350,480 (32.2)	362,866 (32.4)	12,386	3.5
家 族	61,251 (5.6)	63,890 (5.7)	2,639	4.3
積極的労働市場政策	13,659 (1.3)	9,144 (0.8)	△ 4,514	△ 33.0
失 業	14,500 (1.3)	14,048 (1.3)	△ 452	△ 3.1
住 宅	5,129 (0.5)	5,470 (0.5)	340	6.6
他の政策分野	12,670 (1.2)	27,637 (2.5)	14,967	118.1

(注) () 内は構成割合である。

表5 政策分野別社会支出の対国内総生産比

社会支出	2010年度	2011年度	対前年度増加分
	%	%	%ポイント
合計	22.69	23.67	0.99
高齢	10.78	11.01	0.23
遺族	1.42	1.44	0.02
障害、業務災害、傷病	0.95	1.01	0.06
保健	7.30	7.67	0.37
家族	1.28	1.35	0.07
積極的労働市場政策	0.28	0.19	△ 0.09
失業	0.30	0.30	△ 0.01
住宅	0.11	0.12	0.01
他の政策分野	0.26	0.58	0.32

図1 我が国の政策分野別社会支出の推移



(2) 社会支出の国際比較

諸外国の社会支出を対国内総生産比で見ると、我が国は、アメリカよりは大きいがヨーロッパ諸国に比べると小さくなっている。

図2 政策分野別社会支出の国際比較（2009年度）

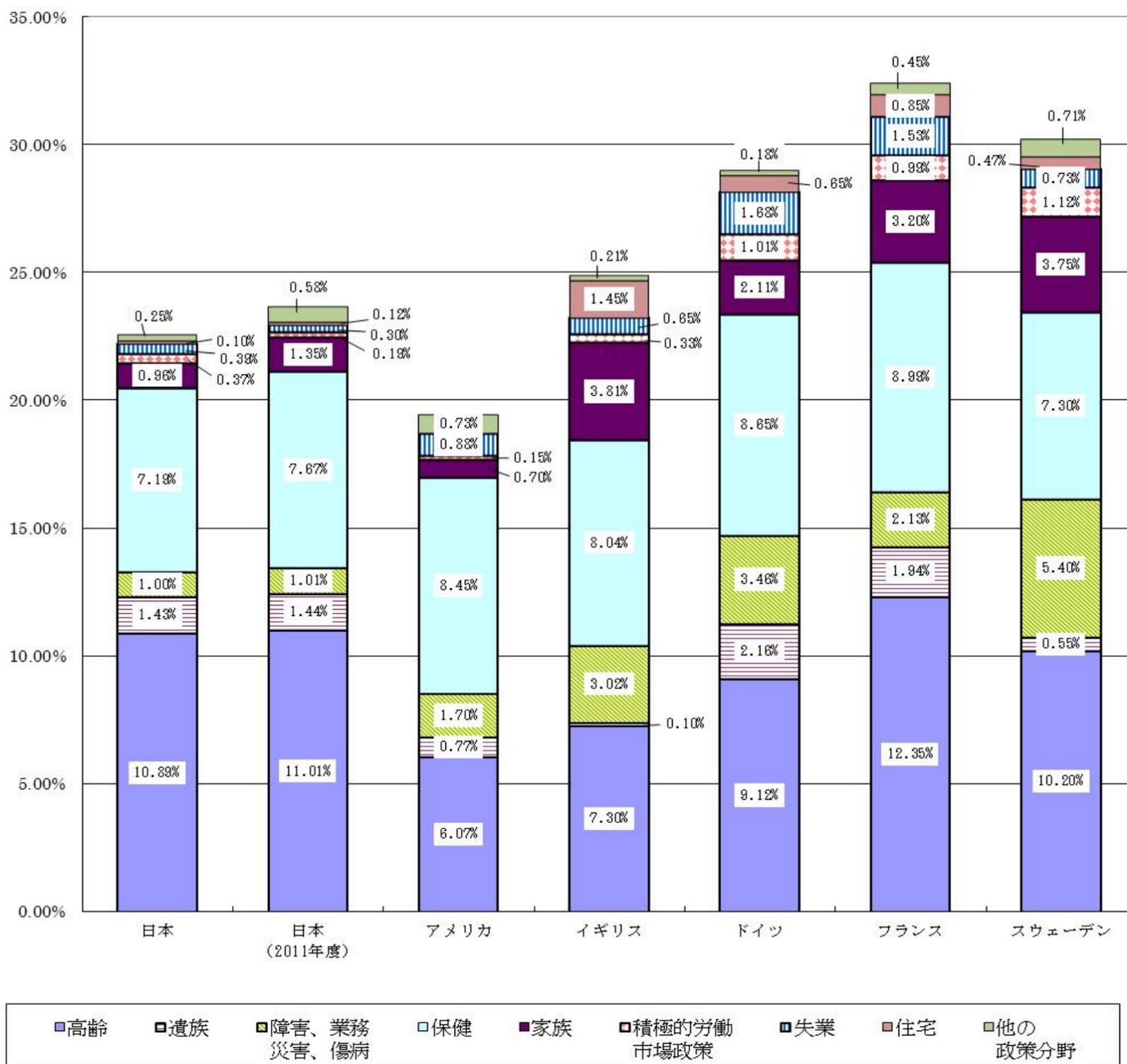


表6 社会支出の国際比較（2009年度）

社会支出	日本	日本 (2011年度)	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	スウェーデン
社会支出 対国内総生産比	22.58%	23.67%	19.45%	24.91%	29.00%	32.41%	30.24%
(参考) 対国民所得比	31.07%	32.31%	24.10%	31.76%	37.98%	43.37%	42.68%

(資料) OECD Social Expenditure Database 2013 ed. による。

(<http://www.oecd.org/els/social/expenditure>)

国内総生産・国民所得については、日本は内閣府「平成25年版国民経済計算年報」、諸外国はOECD National Accounts 2013 による（以下同じ）。

図3 政策分野別社会支出の構成割合の国際比較（2009年度）

